

●大井川鐵道の基本情報

区分	本線	井川線
営業区間	金谷～千頭	千頭～井川
営業キロ	39.5km	25.5km（アプト区間2.2km）
駅数	20駅	14駅
軌間	1,067mm	1,067mm
運行回数	平日：28回、土曜休日：33回	10回
軌道	50kgNレール（37kgレール・40kgNレール有）	22kgレール（アプト区間のみ50kgレール）
トンネル	14箇所（延べ4,070m）	61箇所（延べ7,712m）
橋梁	96箇所（延べ1,603m）	55箇所（延べ2,120m）
踏切	33箇所（第1種：22、第4種：11）	6箇所（第1種：4、第4種：2）
変電所設備	2箇所	1箇所
車両※	42両（C：5、ED：6、制：10、他：21）	37両（ED：3、DD：8、制：4、他：22）
社員	112人（本社部門17人、現業部門95人）	

※C：蒸気機関車、ED：電気機関車、DD：内燃機関車、制：制御車、他：客車

●大井川鐵道の歴史

時 期	内 容
大正14年3月10日	設立（旧大井川鐵道株式会社）
昭和2年6月10日	本線（金谷～横岡間6.5km）営業開始
昭和6年12月1日	本線全線開通
昭和24年12月1日	本線電化開通
昭和34年8月1日	井川線（千頭～堂平間26.6km）営業開始
昭和46年4月1日	井川線（井川～堂平間）廃止
昭和51年7月9日	本線S L復活運転
平成2年10月2日	井川線77°ト式鐵道営業開始
平成4年10月13日	千頭新駅舎および駅前広場完成
平成12年10月1日	大井川鐵道(株)と昭和57年に分社化した大鉄技術サービス(株)が合併し、社名が大井川鐵道(株)となる。
平成26年7月12日	アジアで初めて機関車トーマス号を運行
平成29年6月16日	エクリプス日高(株)の完全子会社となる。
令和2年11月12日	本線五和駅を合格駅に改名、合格～神尾間に門出駅開業

●これまでの経緯

時 期	内 容
R4. 8. 10	大鐵社長が川根温泉笹間渡～千頭の運行について相談
R4. 8. 31	第1回 意見交換会開催(中部運輸局主催)
R4. 9. 23～24	台風15号により全線が被災
R4. 10. 8	千頭～接岨峡温泉(井川線) 運行再開
R4. 10. 13	第2回 意見交換会開催(中部運輸局主催)
R4. 10. 22	接岨峡温泉～井川(井川線) 運行再開 井川線全線運行再開
R4. 12. 5	第3回 意見交換会開催(中部地域局主催)
R4. 12. 16	金谷～家山(本線) 運行再開
R4. 12. 21	第4回 意見交換会開催(中部地域局主催)
R5. 1. 18	県知事あて要望書の提出
R5. 3. 22	第1回 大井川鐵道本線沿線における公共交通のあり方検討会開催
R5. 4. 17/5. 11	検討会による現地調査
R5. 6. 5	担当者による打合せ
R5. 6. 19～20	(独)鐵道・運輸機構及び(公財)鐵道総合技術研究所による被災箇所調査
R5. 7. 12	(公財)鐵道総合技術研究所によるトンネル調査
R5. 7. 27	担当者による打合せ
R5. 10. 1	家山～川根温泉笹間渡(本線) 運行再開
R5. 10. 11	担当者による打合せ
R5. 11. 29	第2回 大井川鐵道本線沿線における公共交通のあり方検討会開催
R6. 1. 26	担当者による打合せ
R6. 1. 29～2. 29	「地域の声」聴取(計15回 63名とのヒアリング)
R6. 3. 13	担当者による打合せ

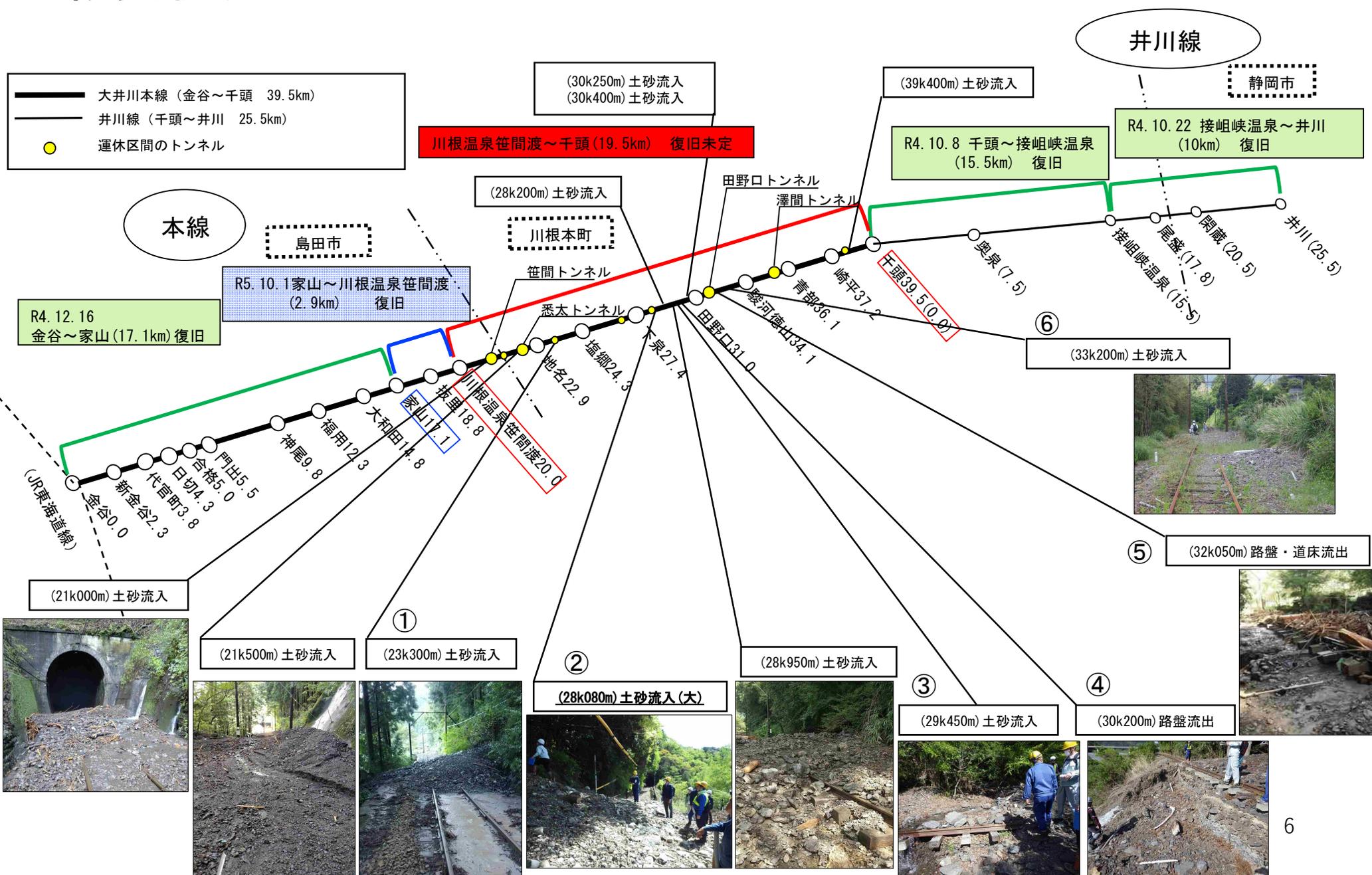
● 検討会の経過

時 期	会 議 名	内 容
R5. 3. 22	第1回 大井川鐵道本線沿線における公共交通のあり方検討会開催	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大井川鐵道の現状の確認
R5. 6. 5	担当者による打合せ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 検討会による現地調査の現状報告 （復旧の長期化・トンネルの老朽化） ・ (独)鐵道・運輸機構と(公財)鐵道総合技術研究所へ大鐵から技術的助言の依頼をした旨の報告
R5. 7. 27	担当者による打合せ	<ul style="list-style-type: none"> ・ (独)鐵道・運輸機構からの技術的助言についての現状報告
R5. 10. 11	担当者による打合せ	<ul style="list-style-type: none"> ・ (独)鐵道・運輸機構と(公財)鐵道総合技術研究所からの技術的助言を受けて大鐵が算定した運行再開に必要な費用について現状報告
R5. 11. 29	第2回 大井川鐵道本線沿線における公共交通のあり方検討会開催	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運行再開に要する費用の確認
R6. 1. 26	担当者による打合せ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 方針の確認 ・ 検討会まとめ（案）の提示
R6. 3. 13	担当者による打合せ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 検討会まとめ（案）の確認 ・ 地域の意見について報告

●現地調査

調査日	調査箇所	参加者
4月17日	川根温泉笹間渡～地名（土木4箇所、軌道2箇所） 地名～塩郷（土木1箇所、軌道1箇所） 下泉～田野口（土木13箇所、軌道7箇所）	中部運輸局 島田市、川根本町 中部電力(株) 静岡県
5月11日	川根温泉笹間渡～地名（土木3箇所、軌道1箇所） 地名～塩郷（土木1箇所、軌道1箇所） 田野口～駿河徳山（土木2箇所、軌道2箇所） 崎平～千頭（土木1箇所、軌道1箇所）	静岡県
6月19 ～20日	川根温泉笹間渡～千頭 （土木26箇所、軌道13箇所） ※土木施設と軌道を分けて調査	(独)鉄道・運輸機構 (公財)鉄道総合技術研究所 中部運輸局 静岡県
7月12日	トンネル4箇所 （笹間トンネル、悉太トンネル、田野口トンネル、 澤間トンネル）	(公財)鉄道総合技術研究所 中部運輸局 静岡県

●被災状況



●被災状況

区間	被災箇所数	運行状況
門出駅～神尾駅	2箇所	R4. 12. 16運行再開
神尾駅～福用駅	2箇所	
福用駅～大和田駅	2箇所	
大和田駅～家山駅	1箇所	
小計	7箇所	
川根温泉笹間渡駅～地名駅	6箇所	運休中
地名駅～塩郷駅	2箇所	
下泉駅～田野口駅	1 3箇所	
田野口駅～駿河徳山駅	2箇所	
崎平駅～千頭駅	1箇所	
小計	2 4箇所	

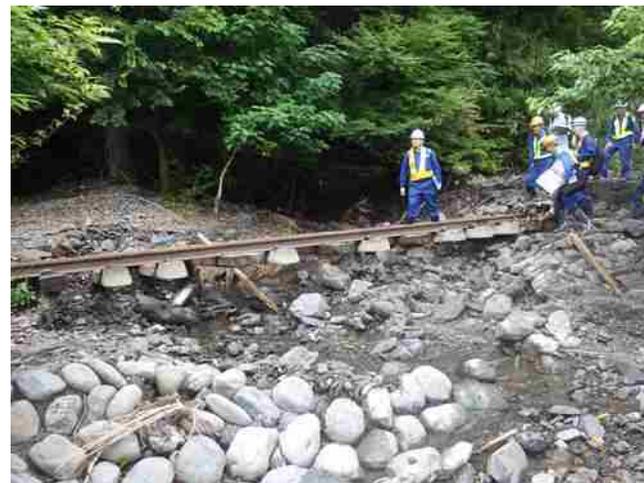
●被災状況



①地名～塩郷間



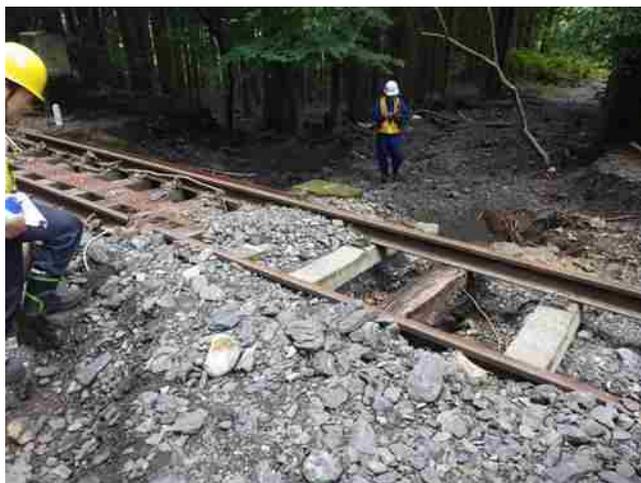
②下泉～田野口間



③下泉～田野口間



④下泉～田野口間



⑤田野口～駿河徳山間



⑥田野口～駿河徳山間

●施設の老朽化



笹間トンネル（覆工ブロックの抜け）



悉太トンネル(偏圧による歪み)



田野口トンネル(覆工の剥離)



澤間トンネル(覆工のひび割れ)

● 運行再開に必要な費用

(独)鉄道・運輸機構や(公財)鉄道総合技術研究所の意見を踏まえて、運行再開に必要な費用等について、大井川鐵道が以下のとおり算定した。

算定にあたっては、運行再開に必要な災害復旧と機能回復、運行開始後でも工事可能な防災改良に分けており、運行再開に必要な費用は全体で約22億円となった。

(1) 災害復旧

台風15号により被災した箇所への復旧 … 4.8億円

(2) 機能回復

安全運行上必要な、経年劣化したトンネルや軌道の整備 … 17.3億円

(3) 防災改良

再度の被災可能性を軽減し、安全運行を継続する上で必要な施設整備 … 5.4億円

※1：令和5年6月及び7月の調査に基づく結果のため、実際の施工時には変更の可能性有

※2：□は運行再開に必要な費用、このうち既存制度による国及び地方の補助を除いた大井川鐵道の負担額は8.4億円以上（国：約6.8億円、地方：約6.8億円）《要綱に基づく県の試算》

※3：防災改良は、災害復旧や機能回復と同時施工を想定して算定。施工時期・施工ロット等により増加する可能性有

●不通区間への対応

- ・ 町営の自主運行バスにて対応
- ・ バスによる所要時間増は5分以内

上段：R4.9以前
下段：R5.10～

	金谷駅	新金谷駅	代官町駅	日切駅	合格駅	門出駅	神尾駅	福用駅	大和田駅	家山駅	抜里駅	川根温泉笹間渡駅	地名駅	塩郷駅	下泉駅	田野口駅	駿河徳山駅	青部駅	崎平駅	千頭駅	
電車	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
S L E L		●								●		◁			▷						●
自主 運行 バス										●					(10) ●	(10) ●	(7) ●	(4) ●		●	(11) ●
										●			△	●	●	(4)	(2) △	(1) ●		△	(1) ●

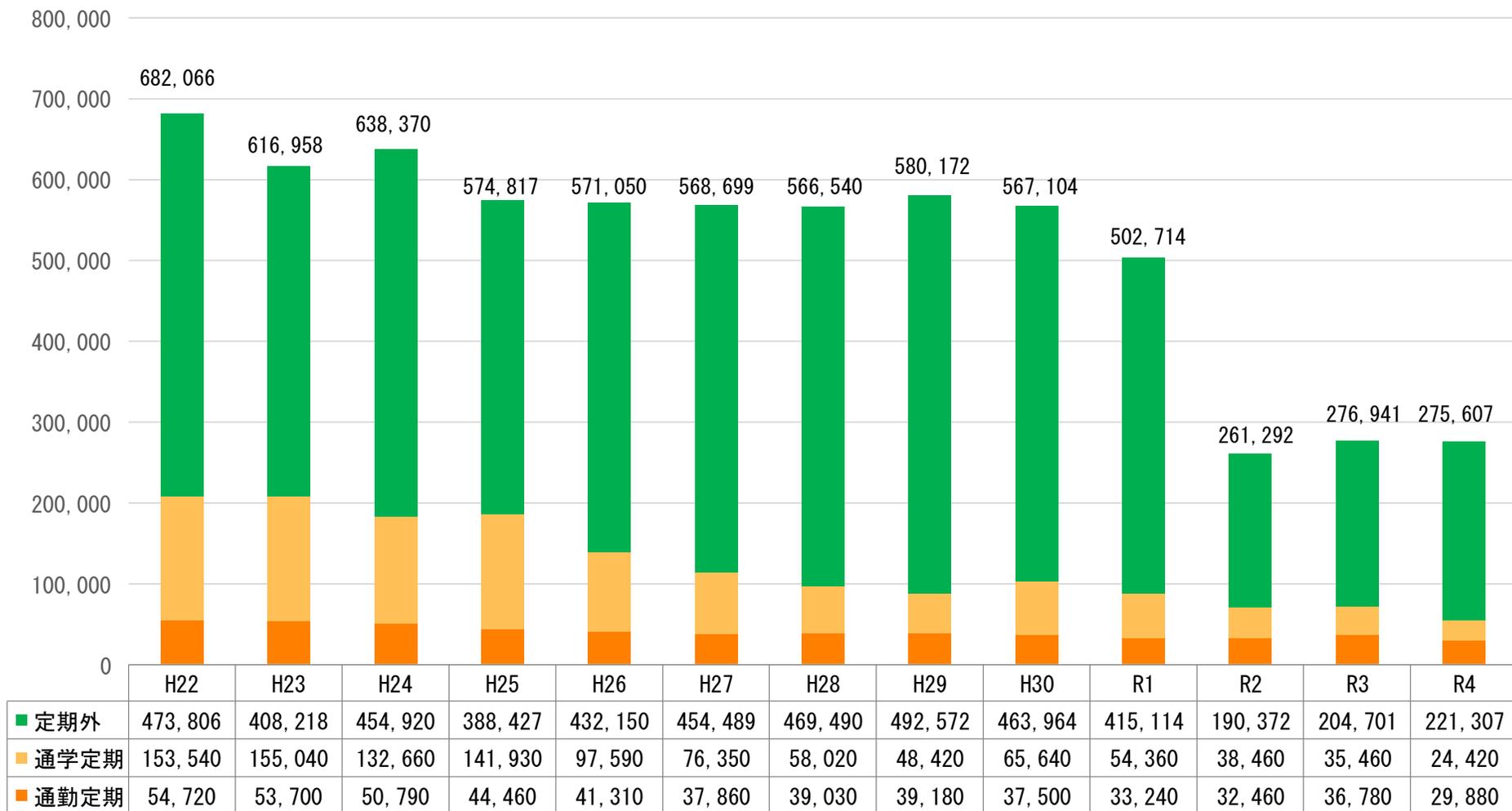
※ 1 : ● 鉄道駅での停車、△ 鉄道駅近くでの停車、() 書きは区間内にあるバス停数

※ 2 : ◁ は上りのみ、▷ は下りの一部列車のみ停車

※ 3 : R4.9以前の自主運行バスの平日運行は、下泉駅と田野口駅の間にある役場前で乗継が必要

●大井川鐵道本線の利用状況

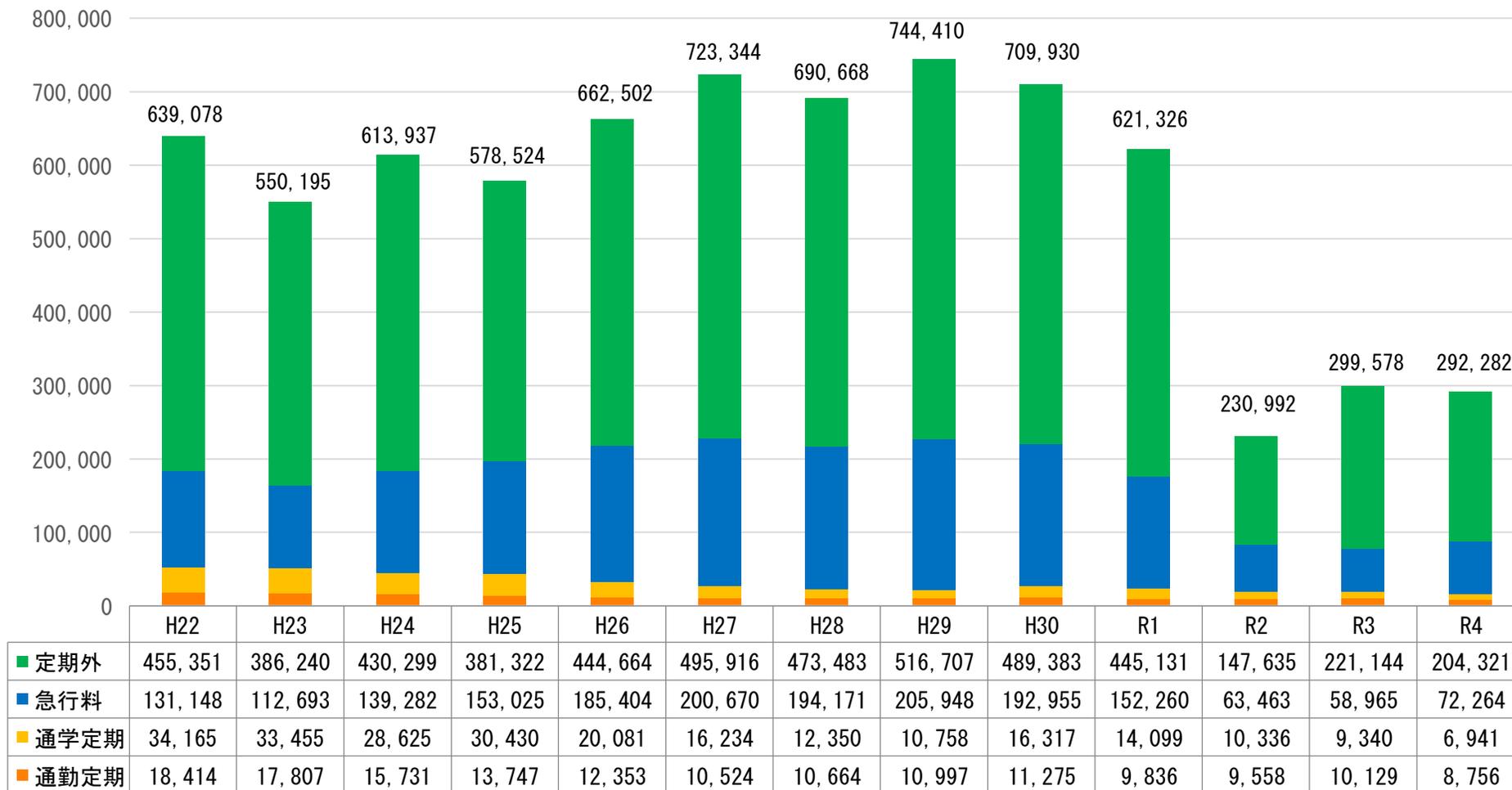
(単位：人)



■ 通勤定期 ■ 通学定期 ■ 定期外

●大井川鐵道本線の運賃収入

(単位：千円)



通勤定期 通学定期 急行料 定期外

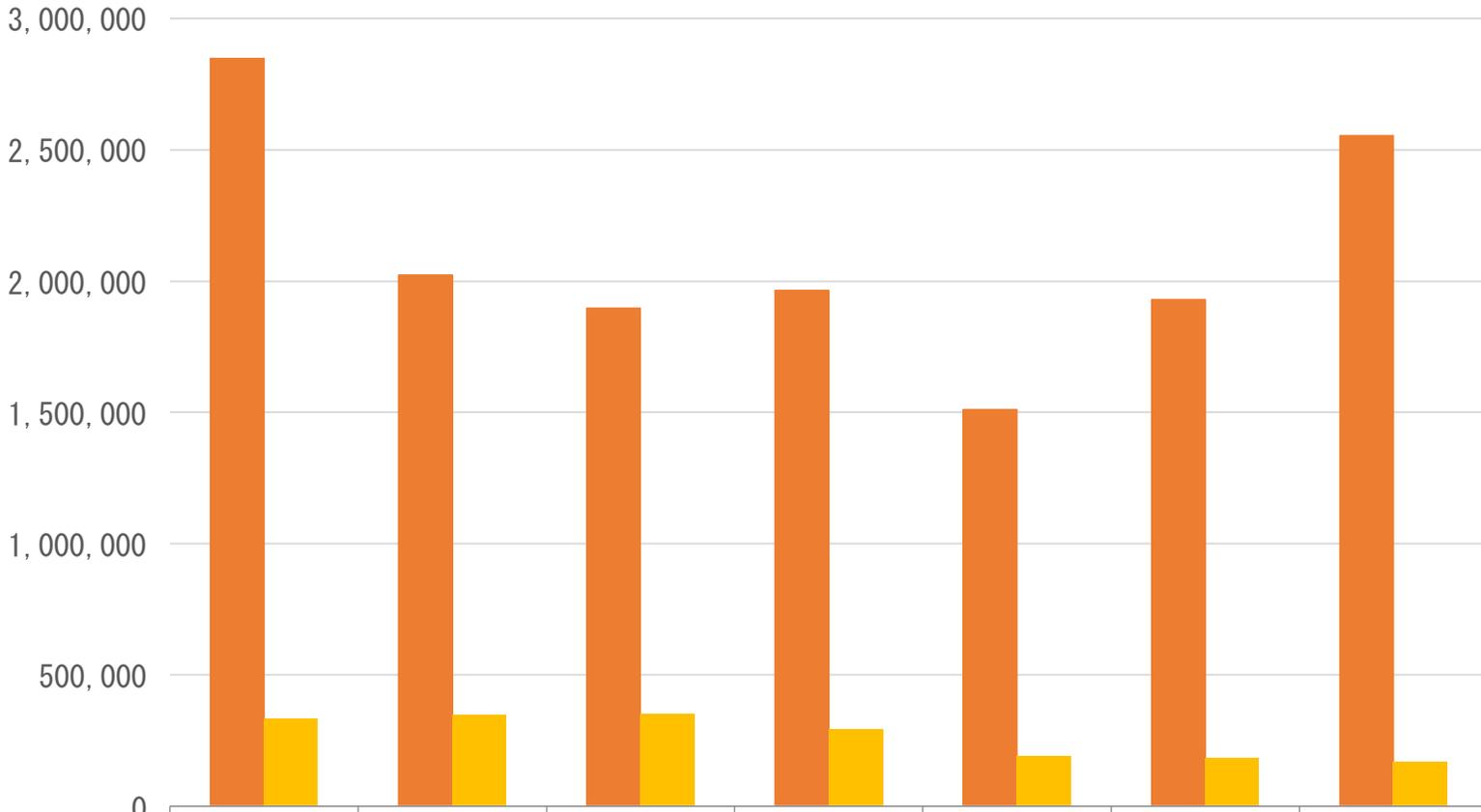
●大井川鐵道本線の収支状況

(単位：千円)

事業	科目	H28	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4
鉄道事業	営業収益	967,340	1,029,659	1,016,588	954,549	509,896	571,412	545,750
	営業費用	961,128	1,025,432	1,029,580	1,056,929	962,993	914,944	901,602
	営業損益	6,212	4,227	▲ 12,992	▲ 102,380	▲ 453,097	▲ 343,532	▲ 355,852
その他事業	営業収益	201,877	646,834	644,052	804,714	460,107	614,835	764,584
	営業費用	145,589	547,961	566,730	789,323	534,964	623,345	721,372
	営業損益	56,288	98,873	77,322	15,391	▲ 74,857	▲ 8,509	43,212
全事業	営業収益	1,169,217	1,676,493	1,660,640	1,759,263	970,003	1,186,247	1,310,334
	営業費用	1,106,717	1,573,393	1,596,310	1,846,252	1,497,957	1,538,289	1,622,974
	営業損益	62,500	103,100	64,330	▲ 86,989	▲ 527,954	▲ 352,041	▲ 312,640
	営業外損益	▲ 17,545	▲ 7,372	▲ 12,787	▲ 6,220	36,454	▲ 9,259	83,886
	経常損益	44,955	95,728	51,543	▲ 93,209	▲ 491,500	▲ 361,300	▲ 228,753
	特別利益	271,457	308,088	86,499	119,459	254,080	542,346	235,694
	特別損失	30,825	185,155	92,590	117,640	108,344	362,807	162,100
	法人税等	1,097	1,096	1,096	1,097	1,097	856	856
	当期損益	284,490	217,565	44,356	▲ 92,487	▲ 346,861	▲ 182,618	▲ 156,016

●観光等への影響

(単位：人)



	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
島田市	2,847,870	2,024,028	1,896,746	1,966,063	1,510,933	1,930,058	2,554,345
川根本町	333,416	347,988	351,625	293,475	192,640	185,212	168,494

●地元住民からの熱い期待

大井川鐵道本線の全線復旧早期実現に向けた署名の提出について

令和5年 9月11日

静岡県知事 川勝平太 様

大井川鐵道全線復旧を支援する会
会長 山口捷彦



署名活動の目的

大井川鐵道は、100年近い歴史の中で、大井川沿線において、地域住民の貴重な足として、また観光客の足としてなど、それぞれの時代で貴重な役割を担ってきました。

特に近年では、全国有数の貴重な観光資源としても注目されており、温泉、お茶、南アルプスのへのアクセスとしても、本県を代表する観光交流の拠点を支える貴重な鉄道であります。

しかしながら、昨年の台風15号により大きな被害を受け、現在もお不通となっており、地域の活性化にも影響をきたしているところであります。

沿線住民をはじめ全国の方々から一日も早い全線復旧を待ち望む熱い思いを寄せていただきました。

つきましては、大井川鐵道本線の全線復旧早期実現について、全面的なご支援をお願いいたします。

また、国に対しましても、早期全線復旧に向けての全面的なご支援をいただきますよう働きかけをお願いいたします。



令和5年9月11日に地域の団体から
35,916筆の署名が提出された

● 検討会構成員

所	属	職	名
中部運輸局交通政策部交通企画課		課長	
中部運輸局鉄道部監理課		課長	
中部運輸局鉄道部計画課		課長	
中部運輸局静岡運輸支局		首席運輸企画専門官	
静岡県交通基盤部都市局地域交通課		課長	
静岡県スポーツ・文化観光部観光交流局観光政策課		課長	
静岡県経営管理部中部地域局		次長兼地域課長	
静岡市都市局都市計画部		交通政策・MaaS担当部長	
島田市地域生活部		部長	
川根本町		副町長	
中部電力株式会社 再生可能エネルギーカンパニー静岡水力センター業務課		課長	
大井川鐵道株式会社		代表取締役社長	